

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム <b>シバ・ピアーズ</b>
日付	平成19年1月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p><b>概評</b></p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>管理者は、常に現状に満足することなくケアサービスの質の改善に意欲的で、外部研修に積極的に参加し、そこで学んだことをホームのケアに活かす努力がなされています。経営者も質の改善に対する理解があります。</p> <p>職員の人間関係がよく、和やかなホームの雰囲気作りやケアの質の改善に対する職員間の率直な意見交換にも役立てています。</p> <p>ターミナルケアを行い、車椅子や寝たきりになっても医療依存度が高くなりすぎない限り、住み慣れたホームで最後を看取る努力がなされています。</p> <p>家族会や誕生日会などを通じて、家族にできるだけホームに関わってもらい、意思疎通や連絡を密にしようと職員全員で努力しています。</p> <p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p><small>散歩の頻度がやや少ないが残念です。出不精な人は、外に出ない日々が続くとさらに出不精になりがちなので、何とか改善したいところです。 人手をどうしても重度の人にさくことになりがちです。軽度の人への声かけや働きかけの頻度をもう少し増やしたほうがいいのかと感じました。様々なホームでの取り組みや意見が参考になるかもしれません。</small></p>
---

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ホーム開設から「笑顔とチームワーク」「あきらめから希望へ」「限りなきプラス思考」をモットーに、利用者個々の有する能力に応じて自立した日常生活を家庭的な環境の中で、その人らしく生活出来るように支援することを目指しています。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員は「落ち着いて行動すること」に日々気を配り、取り組んでいます。特に、食後すぐに職員が席を立つと、まったくとしたいいい空気が崩れ、利用者もすぐに席を立つことが多いので、食後しばらくは職員が席に残るような取り組みをしています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者は昔畑をしていた人が多いので、畑の野菜作りや草取りを通して昔の経験をいかした生活リハを行っています。料理でも、味見、配膳をはじめ、入居者の残存能力や昔の経験に応じた役割をもってもらうことで、自信や生き甲斐づくりに貢献しています。 入居者の家族が訪ねてきたとき、他の入居者から訪問者について尋ねられても立ち入ったことは話さないようにするなど、プライバシーの保護に努めています。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	外部の研修に積極的に参加し、バリエーションなど学んで良いと考えたことは積極的にホームのケアに取り入れています。職員間の人間関係が良く、職員からは積極的な意見提案が出され、率直なやり取りが日常的に行われています。管理者は、ケアサービスの質の改善に意欲的で、現状に満足することなく、さらなる改善に向けて日々励んでいます。		